

2022年3月期

決算説明資料

～新中期経営計画の概要～

IT can create it.

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

1. 2022年3月期 実績
2. 中期経営計画「Vision2026」
3. 2023年3月期 重点施策、業績予想
4. 参考資料

1. 2022年3月期 実績

<連結業績概要>

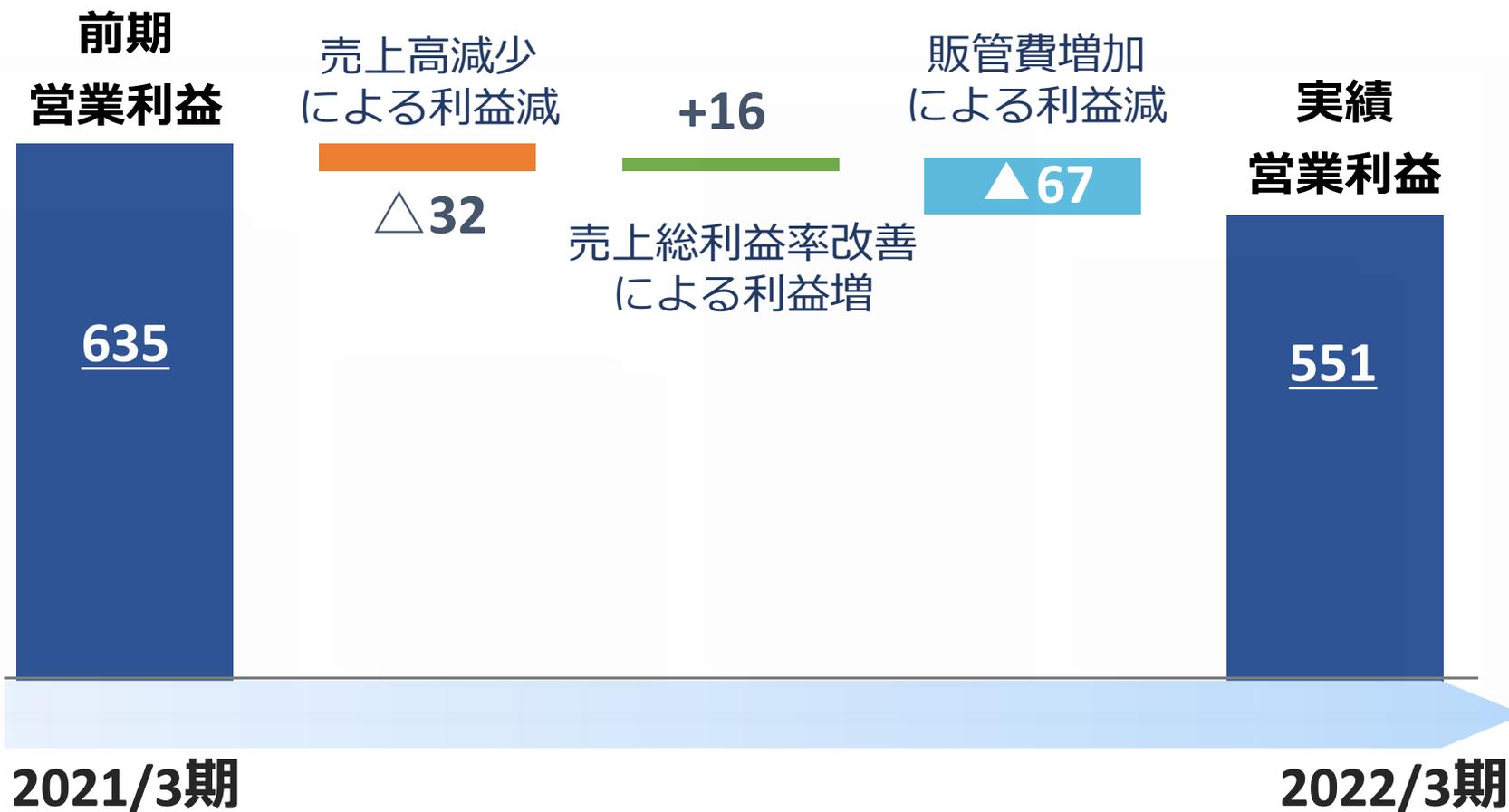
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比 (下段:増減率)
売上高	18,627	18,427	△200 (△1.1%)
営業利益	635	551	△83 (△13.2%)
経常利益	755	755	0 (0.0%)
当期純利益	685	556	△129 (△18.9%)

- 売上高は、受注時期の遅れや前期に大型請負案件受注の反動減により微減
- 営業利益は、販管費の増加やERP系で不採算案件発生の影響等により減益
- 当期純利益は、法人税等調整額計上により減益

営業利益変動要因

(単位：百万円)



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

<システム開発事業>

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	前期比
売上高	11,811	11,882	+0.6%
営業損益	642	777	+20.9%

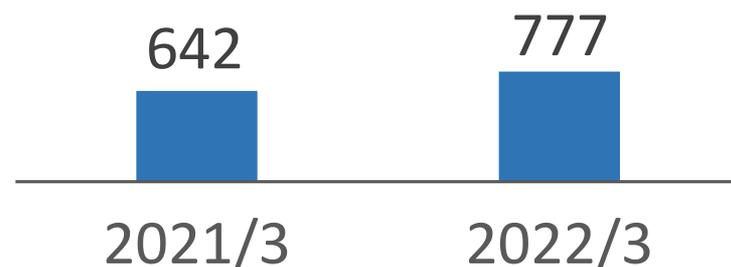
売上高

官庁系、公共系で規模縮小するも、運輸系が堅調に推移したほか、医療系、IoT関連案件の拡大により増収



営業損益

売上高の増加に加え、利益率改善により、増益



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

< S I 事業 >

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	前期比
売上高	4,819	4,686	△2.8%
営業損益	7	△194	—

売上高

大型基幹システム刷新案件の受注が堅調に進むも、前期の反動減に加え、顧客都合による中断等が影響し減収



営業損益

ERP系での不採算案件発生が影響し損失計上



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

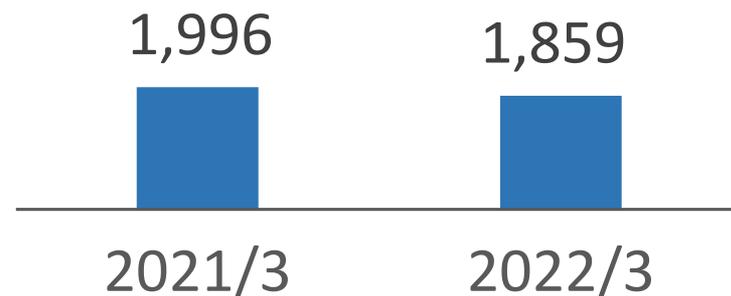
<その他事業>

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	前期比
売上高	1,996	1,859	△6.9%
営業損益	△2	△7	—

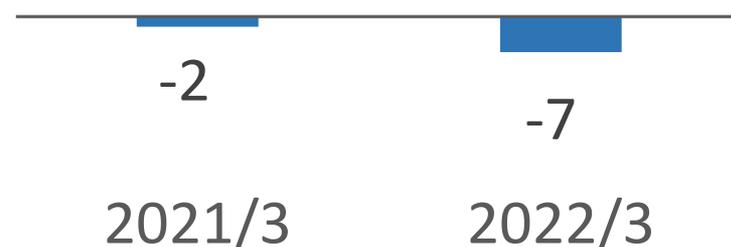
売上高

新事業が堅調に推移したものの、前期拡大したサポートサービス系の反動減により減収



営業損益

売上高の減少が影響し損失計上



2. 中期経営計画「Vision2026」

中期経営計画「Vision2026」概要

◆基本方針と実現イメージ

5カ年中期経営計画「Vision2026」 (2023年3月期～2027年3月期)

高収益を生み出すことにより
持続的成長を実現

基本方針

I. 基盤事業の質的転換

II. プライムビジネスの拡大

III. 新領域へのチャレンジ

VISION
100年先までも
選ばれ続ける企業へ

Phase2
基盤事業・新規領域
の成長拡大

Phase1
事業基盤の強化・再構築

DX加速によるIT投資需要の継続 ～2026年度見通し

I. 基盤事業の質的転換

1 DXの加速に向けて、フルスクラッチ開発^{※1}からプロダクトやクラウドサービス等活用へシフトをはかり、さらなる成長を実現

- 外部環境・顧客ニーズ ※1 既存のプログラムやパッケージソフトを使わず、ソフトウェアを開発すること

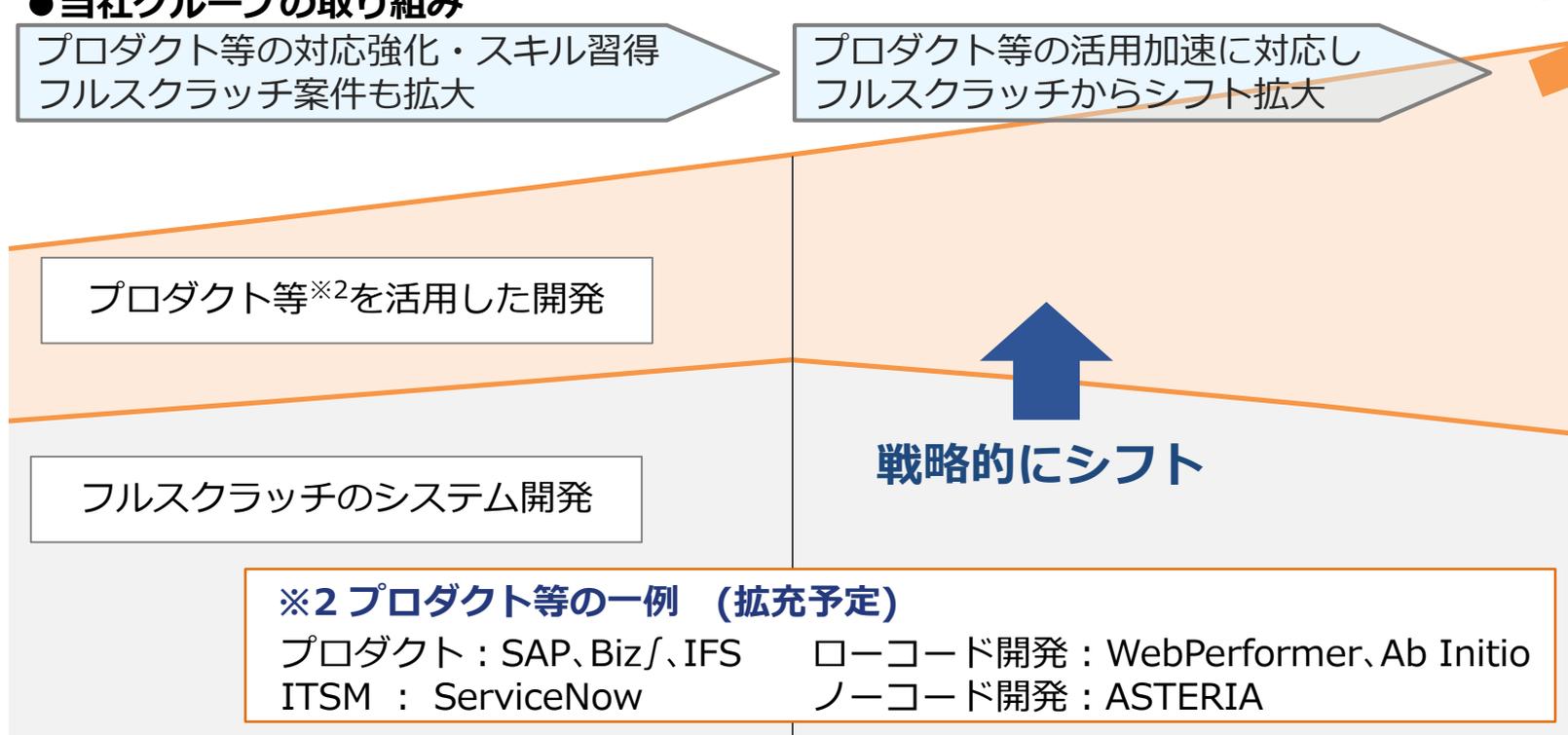
DXの進展 → システムの短納期化・内製化・低コスト化
プロダクト等^{※2}を活用した開発増加[↑] フルスクラッチ開発減少[↓]

- 当社グループの取り組み

プロダクト等の対応強化・スキル習得
フルスクラッチ案件も拡大

プロダクト等の活用加速に対応し
フルスクラッチからシフト拡大

事業拡大へ



2027年までの旺盛なIT投資需要継続を想定

基本方針

I. 基盤事業の質的転換

1

プロダクト・クラウド
サービスの活用拡大

2

請負案件の受注拡大

3

特定チャネル
JEIS、KEL、CMJ※と
の連携強化

4

不採算プロジェクト
の抑制

※JEIS :株式会社 J R 東日本情報システム
CMJ :キヤノンマーケティングジャパン株式会社

KEL:兼松エレクトロニクス株式会社

基本方針

Ⅱ. プライムビジネスの拡大

1

プライム顧客の拡大

システムライフ
サイクルに沿った
サポート

2

営業力・提案力強化
業務コンサルタント・
製品コンサルタント増員等

×

3

ソリューション提供力強化
有望なソフトウェアPKGの
発掘および展開

Ⅲ. 新領域へのチャレンジ

新領域への参入

事業領域拡大

例:セキュリティ領域、デジタル金融領域、等

■ SDGs戦略

SDGs推進に向けたロードマップに基づき取り組みを推進

■ 人材戦略

働きがいのある職場環境の整備により社員のエンゲージメントを向上

■ パートナー戦略

プロダクト・クラウドサービス技術者の確保、顧客のDX実現に向けた幅広いスキルの人材確保

■ 情報化戦略

働き方の多様化に向けたIT環境の整備
サイバーセキュリティ攻撃への対策強化

数値目標(連結)

	2022年3月期 (実績)	2027年3月期 (目標値)
売上高	18,427 百万円	24,000 百万円
営業利益	551 百万円	1,400 百万円
営業利益率	3.0 %	6.0 %

3. 2023年3月期 重点施策、業績予想

DX推進を背景にIT投資需要は継続 新型コロナウイルスの影響は一部業種で残るも回復見込み

事業環境認識

- 既存システムの老朽化や、デジタルトランスフォーメーション(DX)を見据えた基幹システムの刷新需要が継続
- 政府によるデジタル化の推進
- 新型コロナウイルスの影響による一部業種のIT投資停滞は下期以降の復調見込み

課題

- 顧客ニーズにあわせ大型基幹システムの受注体制を構築するためのエンジニアの確保
- 不採算プロジェクトの発生抑制

1 大型請負案件の受注獲得推進

- 既存顧客(チャネル)の深耕と新規顧客獲得推進(システム開発事業)
- 組織体制変更による基幹システム構築案件の対応力強化 (SI事業)

2 プライム案件(一次請け案件)の受注拡大

- ERPパッケージ(SAP、Bizf、IFS等) を活用した基幹システム刷新案件の提案強化
 - ▶ Bizfをベースとした自社開発テンプレートの機能強化

<2022年4月>IT事業者向け「プロジェクト採算管理・役務購買統合テンプレート for Bizf[®]」新機能リリース

- DXを支援する業務最適化コンサルティングや各種ITソリューション提供体制の強化 長期的なパートナーシップを構築

3 資本業務提携先 JEIS、KEL、CMJとの連携推進

- 早期のシナジー創出に向けた各社との連携強化
- 営業部門を再編し対応組織を明確化

4 不採算プロジェクトの発生抑制

- 開発の標準フレームや方法論を事業・領域別など、より細分化し適用拡大
- プロジェクト管理本部および部門PMOによる監視体制の強化

5 新領域への取り組み

- サイバーセキュリティ領域、デジタル金融領域への取り組み推進

2022年4月

IT事業者向け「プロジェクト採算管理・役務購買統合テンプレート for Bizf[®]（ビズインテグラル）」新機能リリース

「Bizf」バージョン3.0へ対応し、管理会計機能を強化

2022年4月

キーウェア九州とJR九州システムソリューションズ株式会社（JRQSS）が業務提携契約を締結

クラウド・データセンターサービスの提供に向けた連携強化

2023年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	予想	前期比
売上高	18,427	19,500	+5.8%
営業利益	551	670	+21.5%
経常利益	755	760	+0.6%
当期純利益	556	560	+0.7%

御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3290-6802

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

4. 參考資料

社名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	<p>1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務)</p> <p>2. 総合ITサービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)</p>		
代表者名	代表取締役社長 三田 昌弘		
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	184億円 (2022年3月期・連結)		
従業員数	1,158名 (2022年3月末現在・連結)		
主要法人株主	株式会社HBA 兼松エレクトロニクス株式会社 住友生命相互保険会社 株式会社JR東日本情報システム キヤノンマーケティングジャパン株式会社 株式会社三井住友銀行 (2022年3月末現在)		
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア九州株式会社	キーウェア北海道株式会社 株式会社クレヴァシステムズ	キーウェア西日本株式会社 株式会社オーガル

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it.
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

- 1965年 ・コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年 ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1988年 ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可
- 1991年 ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年 ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年 ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年 ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得 ・SAP R/3自社導入
- 2000年 ・プライバシーマーク制度認証取得
- 2001年 ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更 ・キーウェアサービス(株)設立
- 2002年 ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
- 2003年 ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
・キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立

Phase4

ジャスダック、東証2部上場事業領域の拡大に向けて加速

クレヴァシステムズを子会社化

IT新時代に向けた積極的な取り組み

- 2005年 ・環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年 ・ジャスダック証券取引所に株式を上場 ・資本金を17億37百万円に増資
- 2008年 ・東京証券取引所第2部に株式上場 ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年 ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年 ・株式会社NTTデータ イントラマートとBizjソリューション販売に関する特約を締結
・Bizj AWARD 2010 秋において「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年 ・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2013年 ・Bizj AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
- 2017年 ・合併事業会社「株式会社イーテア」設立 ・Bizj AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
- 2018年 ・ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞
- 2019年 ・キャノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2019年度 エクセレントアワード」を2年連続受賞
・株式会社HBAと資本業務提携契約を締結
・テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と資本業務提携契約を締結
- 2020年 ・Bizj AWARD 2020 において「Excellent Award」を受賞
- 2021年 ・兼松エレクトロニクス株式会社と資本業務提携契約を締結
・キャノンマーケティングジャパン株式会社と資本業務提携契約を締結
・キャノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2021年度 エクセレントアワード」を受賞
・Bizj AWARD 2021 において「Excellent Award」を受賞
・株式会社オーガル設立 ・株式会社J R東日本情報システムと資本業務提携契約を締結